

検定合格体験記

日商 2 級・国家 IT・全商 4 種 1 級



総合ビジネス科 小西大輝
情報処理部 木屋瀬中学校出身

日本商工会議所主催

- ・日商簿記検定 2 級

IPA 独立行政法人情報処理推進機構主催

- ・国家資格 IT パスポート試験

全国商業高等学校協会主催検定 4 種目 1 級合格

- ・情報処理検定

ビジネス情報部門 1 級

プログラミング部門 1 級

- ・ビジネス計算実務検定（電卓） 1 級

- ・商業経済検定 1 級

その他

- ・秘書検定 2 級

- ・ニュース時事能力検定 3 級

私が資格を取得したいと思ったきっかけは一年生の頃、担任の先生に『資格はビカビカ光りますよ』というお話を聞いたことです。先生の言葉通り、私も資格をたくさん取得することで、光り輝きたいと強く思ったため、高校 3 年間資格取得に取り組みました。資格を取るときのコツは、とにかく楽に考えることです。「落ちたらどうしよう」と考えたり、合格発表まで不安に感じたりする必要は全くありません。もし落ちたとしても、「次、がんばろう」という「ネバーギブアップの精神」が大切なのです。

絶対に合格できる勉強法などは存在しませんが、私からのアドバイスを送ります。それは、「自分に合った検定の勉強方法を見つけよう」です。検定を取るときは何かベースとなる勉強方法を見つけることが大切だと考えています。私は長時間の勉強が苦手なので、まず検定の過去問を数年分調べて、そこから出題傾向を掴み、効率的に勉強していました。また、過去問でわからないところは答えをすぐ見て、答えから学ぶようにしました。私は、この勉強法で、短時間で質の良い勉強をすることができたと思います。もしも、自分の勉強方法が見つけられないという人がいても、焦らなくて大丈夫です。私もこの勉強法に辿りついたのは、3 年生の夏頃でした。何度も検定を受けているうちに、自分の勉強方法が見えてくると思うので、それを発展させていけばよいのです。

私はこの勉強法で数々の資格を取得し、福岡大学に合格することができました。資格などは主に書類審査の時に有利に働いたと思います。元々評定が低い私でしたが、資格があることで総合型選抜という道が開き、希望する大学に合格することができました。後輩の皆さんも、ぜひ多くの資格を取得して、進路選択の幅を広げてください。

検定合格体験記

英検準2級・日商2級・全商2種1級



ビジネス情報科 杉山優奈
総合部（水泳） 引野中学校出身

日本英語検定協会主催

- ・ 実用英語技能検定 準2級

日本商工会議所主催

- ・ 日商簿記検定 2級

全国商業高等学校協会主催検定2種目1級合格

- ・ ビジネス計算実務検定（電卓） 1級
- ・ ビジネス文書実務検定 1級

その他

- ・ 全商情報処理検定
ビジネス情報部門 2級
- ・ 秘書検定 3級
- ・ ニュース時事能力検定 3級

私は3年間で、沢山の検定試験を受けました。同じ日に2つ検定を受けたり、考査期間中に検定を受けたりと、短期間で様々な分野の勉強をしなければならず、本当に大変でした。その中でも苦労したのが、日商簿記検定2級と実用英語技能検定準2級です。

実用英語技能検定の準2級を受けようと思ったきっかけは、得意だった英語を疎かにしたくないと思ったからです。中学生の頃から英語は得意科目でしたが、商業科在籍のため高校での英語の単位数が少なく、勉強するのが少し困難になりました。私はリスニングが苦手でしたが、高校の授業でリスニングをする機会はほとんどなく、克服するためにはどうしたら良いのかとても悩みました。2年生のときに放課後英語課外に参加したり、自宅でタブレット教材を活用したりして、「自分で出来る範囲のことは自分で頑張る」ことを目標に、個人での学習を徹底しました。2年生の夏に検定を受けることを決め、単語や熟語を青ペンでひたすら書いて覚え、10月に一次試験を受けました。数日前に中間考査があったり、情報処理検定2級を受けたりと、スケジュール管理が大変でしたが、無事に合格することができました。面接はタブレット教材だけでは不安だったので、英語科の先生に個別でご指導いただき、本番は落ち着いて面接を受けることができました。二次試験も一回で合格でき、2年生の11月に実用英検準2級を取得することができました。

二次試験の1週間後には電卓検定1級が控えていて、こちらの勉強も苦労しました。普通計算部門は心配ありませんでしたが、ビジネス計算部門がとても苦手で、公式や解き方が中々覚えられず、過去問を解いてもずっと合格点に達しませんでした。チャレンジ講座を受講したり、苦手な分野の問題を何度も解いたりして、苦手克服に努めました。そのおかげで、普通計算もビジネス計算もどちらも1回で合格することができました。

3年間で一番大変だった、苦労した検定は日商簿記検定2級です。私は原価計算という科目が不得意で、考査で良い点数がとれず、悔しい思いをしたこともあります。財務会計と原価計算、2科目で週に7時間授業がありました。どんどん新しい分野に進むので、授業に着いていくことに必死でした。難しい上に1問の電卓ミスが命取りになってしまうので、考査や検定前は心が折れそうになりました。ですが難しい分、良い点数を取れたときはとても達成感がありますし、頑張ったよかったとやりがいを感じます。夏休みは大学で開催される講義、12月は朝課外と外部の先生が来校してくださる講義にも参加しました。12月は最後の追い込みの時期で、何度も模擬問題を解きました。合格点にはぎりぎり届いたり届かなかったりで、不安や悔しさを覚えました。放課後は居残りをして時間を計りながら模擬問題を解いたり、家でも問題集を数十枚コピーして、苦手な分野の問題を定着するまで繰り返し解いたりしました。万全の状態での検定日を迎え、無事に合格することができました。苦しい思いを何度もしましたが、あのとき頑張ったよかったと心から思います。

沢山の検定を取得できたおかげで、大学の志望理由書や面接でアピールすることができました。在学生や中学生の皆さんも、様々な検定取得にチャレンジしていただきたいです。検定の取得は、自分の強みになると同時に将来の選択の幅を広げてくれます。自分を追い込みすぎない程度に、ぜひ頑張ってください。

検定合格体験記

国家IT・日商2級・全商4種1級



ビジネス情報科 千草穂香
演劇部 食物・被服部 浅川中学校出身

IPA 独立行政法人情報処理推進機構主催

- ・国家資格 IT パスポート試験

日本商工会議所主催

- ・日商簿記検定 2 級

全国商業高等学校協会主催検定 4 種目 1 級合格

- ・情報処理検定
ビジネス情報部門 1 級
- ・ビジネス文書実務検定 1 級
- ・ビジネス計算実務検定（電卓） 1 級
- ・商業経済検定 1 級

その他

- ・秘書検定 2 級
- ・ニュース時事能力検定 3 級

私は高校入学時に、できるだけ沢山の資格を取得するという目標がありました。そのため、積極的に検定試験を受けることを心がけました。

日商簿記検定 2 級は、コースでの授業があったため、毎日の勉強を欠かさないようにしました。IT パスポートは、暗記する量がとても多かったため、テキストの単語を何度も繰り返して覚えるだけでなく、インターネットを活用して過去問を沢山解くことで、本番の検定試験の形式に慣れることができました。どちらも検定直前には練習問題を繰り返し解き、分からない問題を最大限なく努力をしました。

授業で習っていない検定試験を受ける時は、まず難しい問題から解くと心が折れそうになるので、とにかくテキストを眺めることから始めました。大事な用語を頭に入れたり、検定の概要を掴んだりすることで、練習問題も解きやすくなると思います。

難しい検定試験に挑戦していて挫折しそうになった時は、その資格を取得した後の自分の姿を想像してみると良いと思います。資格はそれぞれの希望進路によって取得していれば良いものや取得していなければいけないものがあります。自分が資格を取得することで進路実現に近づくという目標を持って取り組むと、挫折することがなくなると思います。

資格を取得することは自分の進路の幅を広げることに繋がります。希望の進路が定まっている人だけでなく、自分が何をしたいのか定まっていない人でも、資格を早いうちに取っておくことで、将来の自分のためになります。

合格するための授業を受けている検定は落とさないように、授業内やその日のうちに疑問をなくしておくことが大事だと思います。授業を受けていなくても、商業経済検定のように用語をしっかり暗記することで合格することができる検定試験もあるため、授業がない検定試験にも積極的にチャレンジしてみると良いと思います。

希望進路が決まっている人も、これから決める人も、まだ受けることができる検定は沢山あると思うので、今からでも挑戦してみてください。

検定合格体験記

国家IT・全商5種1級



IPA 独立行政法人情報処理推進機構主催

- ・国家資格 IT パスポート試験

全国商業高等学校協会主催検定5種目1級合格

- ・情報処理検定
 - ビジネス情報部門 1級
 - プログラミング部門 1級
- ・ビジネス文書実務検定 1級
- ・ビジネス計算実務検定（電卓） 1級
- ・商業経済検定 1級

その他

- ・ホームページ作成検定 1級
- ・ニュース時事能力検定 3級
- ・日商簿記検定 3級
- ・全商英語検定 3級

私が取得した検定は、電卓検定1級、ワープロ検定1級、情報処理検定（ビジネス情報、プログラミング）1級、商業経済検定1級、ホームページ検定1級、ITパスポートも取得しました。

これらの検定を取ろうとしたきっかけは、「取ってれば、就職や進学など、この先の進路に有利になれる」と思ったからです。授業の中で取らなければならないものもありますが、やはり「自分の将来のため」という気持ちが大きかったと思います。また、合格を重ねるうちに「検定を取ることが面白い」という、一種の快感を得ていました。自分にとって検定取得は、自分自身のスキルアップのためでもあり、楽しみでもあったのです。

検定取得の勉強法として、有用だと思っている方法を紹介します。電卓検定のビジネス計算を取った時のことです。この時の私は、検定直前まで全く勉強ができておらず、焦りを感じていました。そこで、全模擬試験の中から出題率が一番高かったものを選出し、それを解けるようにしました。それを解けるようになったら、次に出題率が高いものを選出し、それを解けるようにする。これを繰り返し、最終的に85点分取れるようにして挑んだところ、なんとか合格することができました。もちろん、早い段階から準備を始めるに越したことはありませんが、効率よく勉強することも大切だと思います。皆さんも試してみてくださいはいかがでしょうか。

こうやって数々の検定を受け、資格を取得してきた私ですが、最も苦戦したのは、やはりITパスポートです。国家資格というだけあり、範囲が他と比べてけた違いで、覚えなければならないことも多く、とても難しかったのです。しかし、web上にある「過去問道場」というサイトで何度も繰り返し過去問を解いた結果、合格することができました。

もちろん、進学先では、この検定を活かし、志望理由としたり、授業料の減額に貢献したりと、とても役に立ってくれています。検定は取っておくに越したことはありません。取れそうな検定はとにかくとっておくべきだと思います。ぜひ頑張ってください。

家庭科技術検定四冠王！



生活デザイン科 木原千織
写真部 千代中学校出身

全国高等学校家庭科教育振興会主催

- ・被服製作技術検定（和裁） 1級
- ・被服製作技術検定（洋裁） 1級
- ・食物調理技術検定 1級
- ・保育技術検定（造形,言語,音楽,看護） 1級

全国商業高等学校協会主催検定

- ・情報処理検定 3級
- ・ビジネス文書実務検定試験 3級
- ・英語検定 3級
- ・色彩検定 3級

私が四冠王になりたいと思った理由は、高校生のうちに、大きな目標に向かって努力したいと思ったからです。

達成するのはとても大変だったし、諦めたくなることもありましたが、無事四冠王になることができ、大きな達成感を得ることができた上、進学の際にもアピールすることが出来たので諦めずに頑張ったよかったです。

筆記の勉強で心がけたことは、過去問を解いてから勉強を始めることです。数年分の過去問を解いてから勉強することで、よく出る問題や出題傾向が分かるので勉強しやすくなります。

実技の練習で心掛けたことは、とにかく何回も繰り返し練習することです。特に調理、保育検定は、どれだけ練習したかが結果に現れるので、絶対に合格できる！と確信できるまで練習を重ねることが大切だと思います。

和裁、洋裁はとにかく時間との勝負なので、製作手順を頭に入れておくこと、手縫いなどの作業時間が少しでも短縮できるように練習することが大切です。

保育検定の言語2級でいちど不合格になった時は諦めたくなりましたが、ここで諦めたらもったいない！と何とか持ちこたえ、2回目で無事合格することが出来ました。

他にも、スケジュールの調整など大変なことはたくさんありますが、得したこともあります。まず、進学の際に有利になる場面が多いです。私は専門学校への進学でしたが、特待生入試を受験したので、推薦書に書いていただき、無事合格することが出来ました。他にも、推薦の枠を決める校内選考で有利にはたらくこともあります。

最後になりますが、私が四冠王になることが出来たのは指導してくれた先生方や、応援・協力してくれた友達、家族のおかげです。高校での経験を活かして進学後も頑張ろうと思います。

家庭科技術検定四冠王！



生活デザイン科 矢野詩織
吹奏楽部 城山中学校出身

全国高等学校家庭科教育振興会主催

- ・被服製作技術検定（和裁） 1級
- ・被服製作技術検定（洋裁） 1級
- ・食物調理技術検定 1級
- ・保育技術検定（造形,言語,音楽,看護） 1級

全国商業高等学校協会主催検定

- ・情報処理検定 3級
- ・ビジネス文書実務検定試験 3級
- ・英語検定 3級
- ・日本漢字能力検定 準2級

手先を使うことが得意だった私は、入学したときから四冠王を取りたいと考えていました。当初は「取れたらいい」程度の思いでしたが、家庭科の授業で触れる保育、食物、被服の分野にとっても興味があり、授業を通して知識や技術が身についていくにつれて、自分が成長できていることが嬉しくなり、四冠王を取りたいという気持ちが強くなりました。

もちろん挫折しそうになることもありました。特に前期の検定で不合格だったときは、諦めようかと思ったこともあります。しかし、ここまで頑張ってきたのだからもう少し頑張ってみようと思い直し、後期の検定で絶対に合格してみせると、気持ちを新たにしました。また、指導してくださる先生方や、ともに励まし合う友人、応援してくれる家族の支えがあったからこそ再び頑張ろうと思えました。

検定に挑む上で心がけたことは、継続して取り組むことと、失敗しても何度も挑戦することです。私はピアノを習っていた経験があり、自分で何かを制作することも好きだったので、保育に関しては比較的スムーズに取り組むことができました。ですが、入学する前までミシンを使ったことがなく、手縫いで何かを作った経験もありませんし、料理に至っては、ほとんどしたことがなかったため、被服と食物の検定取得にはとても苦労しました。それでも家で手縫いを練習したり、料理も一から作ったり、食材を早く切る練習をしてみたりするなど、空いている時間を見つけてたくさん挑戦したことで、できるようになっていきました。思うようにできないこともありましたが、できるまで頑張ろうと諦めずに挑戦し続けました。

四冠王を得たことは、私にとって大きな自信に繋がりました。保育の道に進みたいと考えていたので、子どもたちとどう関われば良いのか、どのような知識が必要なのか学ぶことができましたし、進路先の専門学校でも必ず役に立つと思います。また、被服や食物の検定でも知識を身につけることができたので、将来子どもたちの成長をサポートする上で幅広い視点を持つことができると考えています。後輩の皆さんも、ぜひ四冠王にチャレンジしてください。

家庭科技術検定四冠王！



生活デザイン科 吉田來未
吹奏楽部 黒崎中学校出身

全国高等学校家庭科教育振興会主催

- ・被服製作技術検定（和裁） 1級
- ・被服製作技術検定（洋裁） 1級
- ・食物調理技術検定 1級
- ・保育技術検定（造形,言語,音楽,看護） 1級

全国商業高等学校協会主催検定

- ・ビジネス文書実務検定試験 3級
- ・英語検定 3級

私は、せっかく検定を取得できる環境にあるのだから、できる所まで頑張りたいと思い、検定の取得に励んできました。筆記の試験では、過去問題を何度も解き直して試験範囲の内容を頭に入れ、実技の試験では、繰り返し練習出来ないものは手順をしっかりと覚えてから検定に望んできました。食物検定では自分で1からレシピを考えて作ることが難しく、被服検定ではどこをどう縫うのかなど服の構造が複雑で、保育検定では造形・看護・言語・音楽リズムの4つの項目があり、その中でも音楽リズムのピアノは今までしたことがなかったのととても大変でした。しかし、友人と一緒に放課後に残って準備をしたり練習をしたりすることで、一緒に頑張っていると感じられて励まし合いながら頑張ってきました。四冠を取るには、難しくて悩むことや投げ出したくなることもあるけれど、資格を取得できた時の達成感には変えられません。後輩の皆さんも、是非、ひとつでも多くの資格を取得できるように頑張ってください。